

令和3年度AOIプロジェクト成果発表会 農林技術研究所の研究成果



閉鎖式個体群光合成計測システム（イチゴ）

次世代型栽培実験装置（ワサビ苗）



【次世代栽培システム科】

AOIプロジェクトの目的と推進体制

“アグリオープンイノベーションの促進”

- 革新的な栽培技術開発、品種開発→**農業の飛躍的な生産性向上**
- 産学官金の幅広い参画→**農業を軸とした関連産業のビジネス展開**

AOI-PARC

(プロジェクトの拠点)

- 農林技術研究所
- 慶応義塾大学 (AI農業、バイオ)
- 理化学研究所 (光計測、微生物)
- AOI機構

共同開発

プロジェクト参画
事業者

研究成果

効率栽培法

新品種育成

技術シーズ群

高機能作物の栽培法

広く実用化

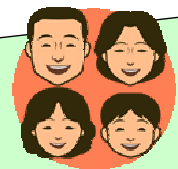
(ビジネスマッチング)

- 健康食メニューの開発
- 高品質な作物栽培ノウハウの普及
- 高機能作物の栽培ノウハウの普及
- 新品種を使った加工食品の開発

など

(AOIフォーラム)

消費者へ還元



- ☆高品質な農産物を手がるに入手
- ☆健康増進
- ☆健康食の給食提供
- ☆高機能食材を使ったメニュー提供

など

技術開発二ーズ

AOIプロジェクトを推進する革新的栽培技術の開発(H29-R3)

①植物成育の環境応答



植物環境応答の解析
(トマト、ワサビの好適育苗条件)

②植物機能性の環境応答



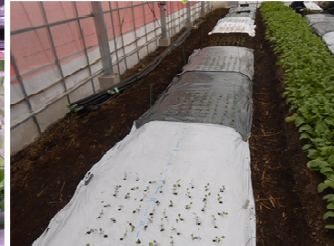
機能性成分の効率分析法の開発
(カロテノイド類、グルコシレート類等メソッド)

③革新的栽培技術

ベビーリーフ



ケール



民間事業者の直接的な技術支援
(栽培技術、機能性表示等の支援)

④データ駆動型栽培管理



環境制御システム、栽培管理支援ツールの開発
(高糖度・高機能性トマト、イチゴ葉面積センサ等)